

## 荒川ダム群等の現況と今後の対策について



滝沢ダム

平成２２年１０月２０日

関東地方整備局

# 1. 荒川ダム群等の現況

## (1) 降水量

平成22年4月以降の荒川秋ヶ瀬上流域の降水量は、6月及び8月は平年を下回りましたが、それ以外の月は平年を上回っています。特に8月の降水量は平年の47%と大きく下回り、過去46年中8番目に少ない状況となっています。

平成22年1月から9月の累加降水量は1,205mmで、平年値の累加である1,142mmに対し106%となっています。また10月19日現在では1,249mmで昨年の年間降水量を上回っています。

(図-1、表-1参照)

図-1

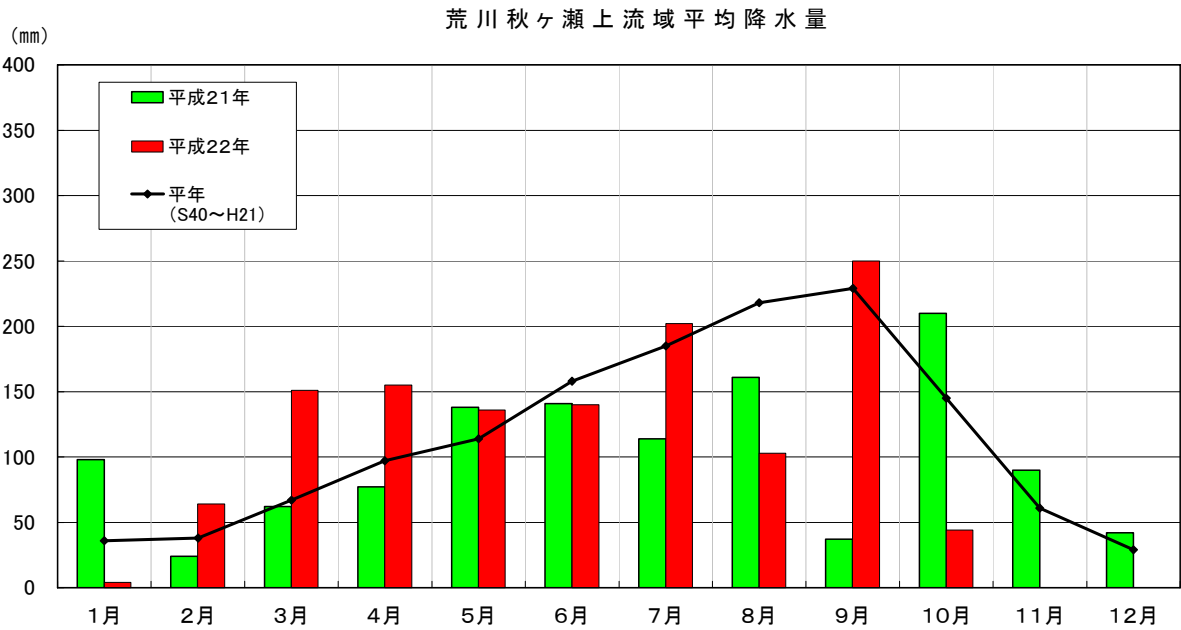


表-1 荒川秋ヶ瀬上流域平均降水量 (平成22年10月18日まで)

単位 (mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657
平成21年	98	24	62	77	138	141	114	161	37	210	90	42	1,194
平年 (S40-H21)	36	38	67	97	114	158	185	218	229	145	61	29	1,377
平成22年	4	64	151	155	136	140	202	103	250	44			1,249
平年比 (%)	11	168	225	160	119	89	109	47	109	30			91

※. 荒川秋ヶ瀬上流域面積 2,021 km<sup>2</sup>

(2) 荒川ダム群の貯水状況

荒川ダム群（二瀬ダム、滝沢ダム、浦山ダム、荒川調節池）は、6月3日に貯水量8,051万 $m^3$ 、常時満水容量に対する貯水率56%に達しました。その後概ね平年並の降水量だったことから貯水量の低減を抑え、7月末の時点で夏期制限容量を維持することができました。

8月は平年を大きく下回る降水量で、特に8月第5半旬から9月第1半旬までの半月で18mmの降水量しか無かったために、9月上旬には最大67万 $m^3$ の補給を実施しました。

滝沢ダムを含む荒川4ダムは、10月19日9時現在の貯水量は、7,569万 $m^3$ 、貯水率52%となっています。（表-2、図-2参照）

表-2 荒川4ダム貯水量

平成22年10月19日9時現在					
ダム名	有効容量 (万 $m^3$ )	貯水量 (万 $m^3$ )	貯水率 (%)	前日補給量 (万 $m^3$ /日)	平年比 (%)
二瀬ダム	2,000	591	30	-5	84
滝沢ダム	5,800	2,485	43	-2	—
浦山ダム	5,600	3,472	62	-6	96
荒川貯水池	1,020	1,021	100	1	102
4ダム合計	14,420	7,569	52	-12	

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 補給とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い）
4. 平年比は、過去の平均貯水量に対する割合。4ダム合計の平年比は、二瀬ダム、浦山ダム、荒川貯水池の平均貯水量の合計に対する割合。

図-2

荒川4ダム(二瀬、浦山、滝沢、荒川調節池)貯水容量図

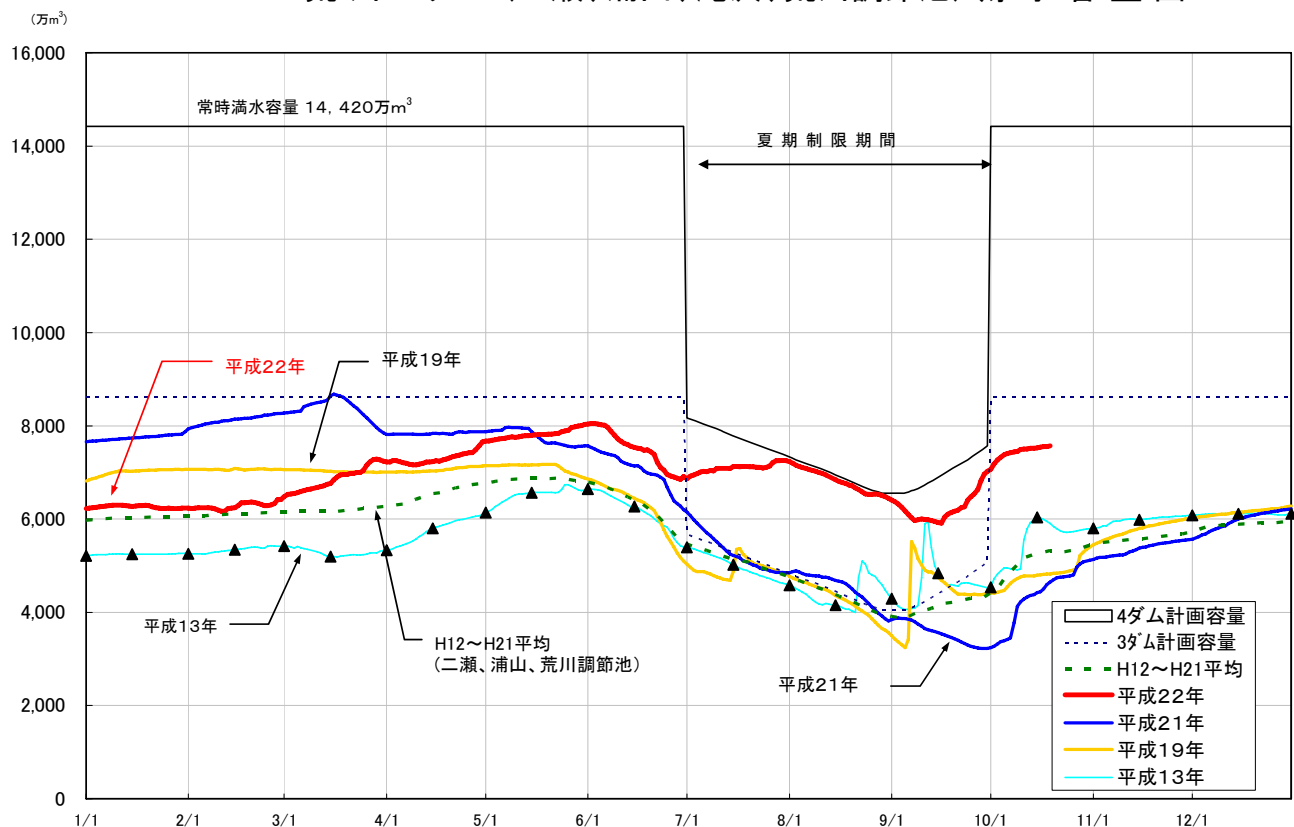


図-3

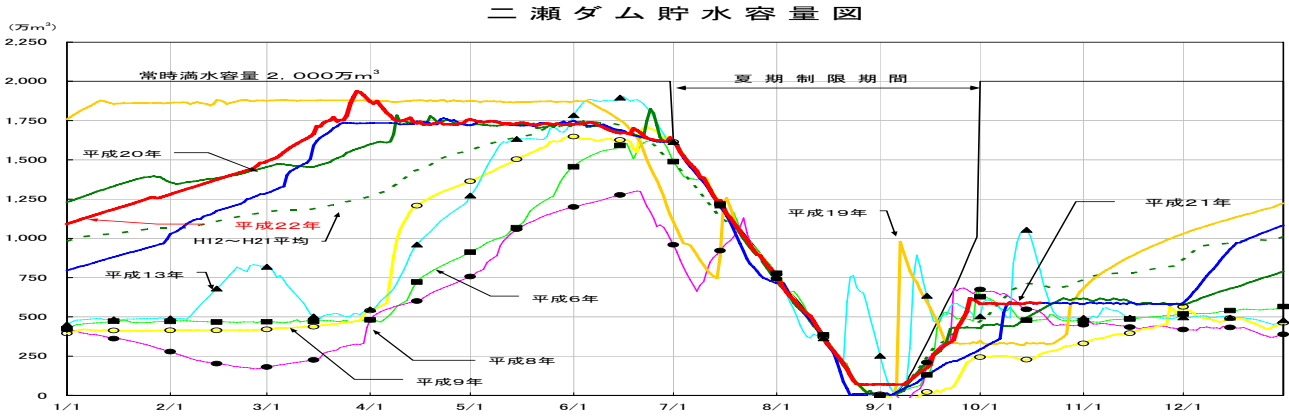


図-4

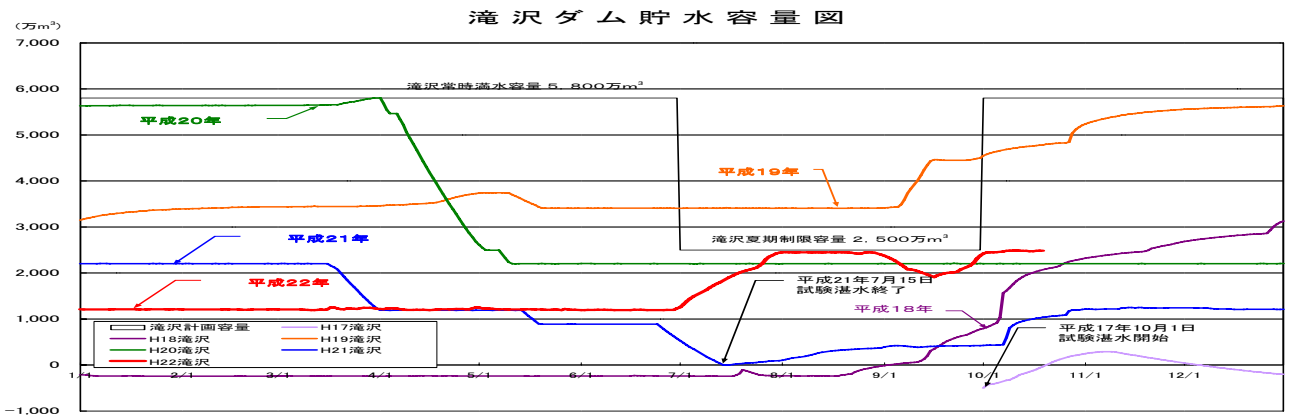


図-5

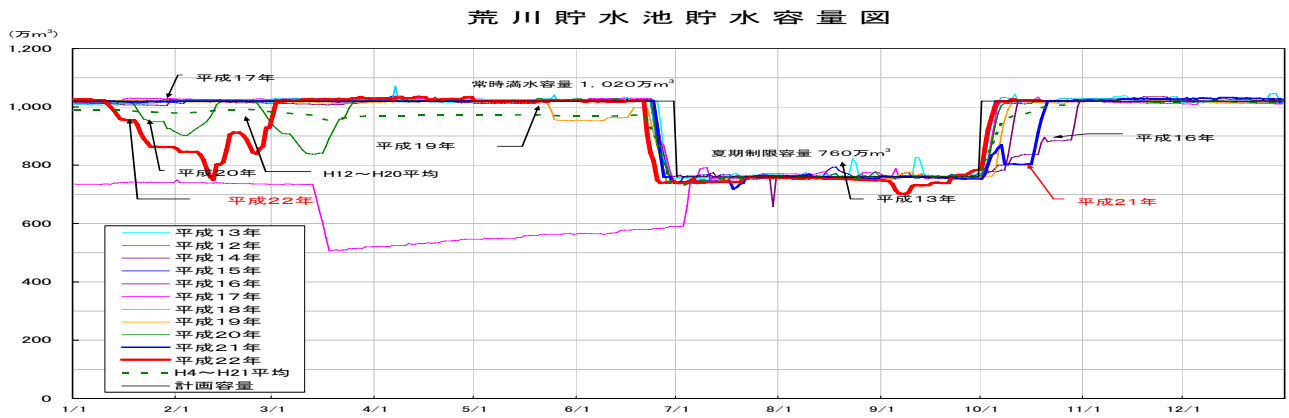
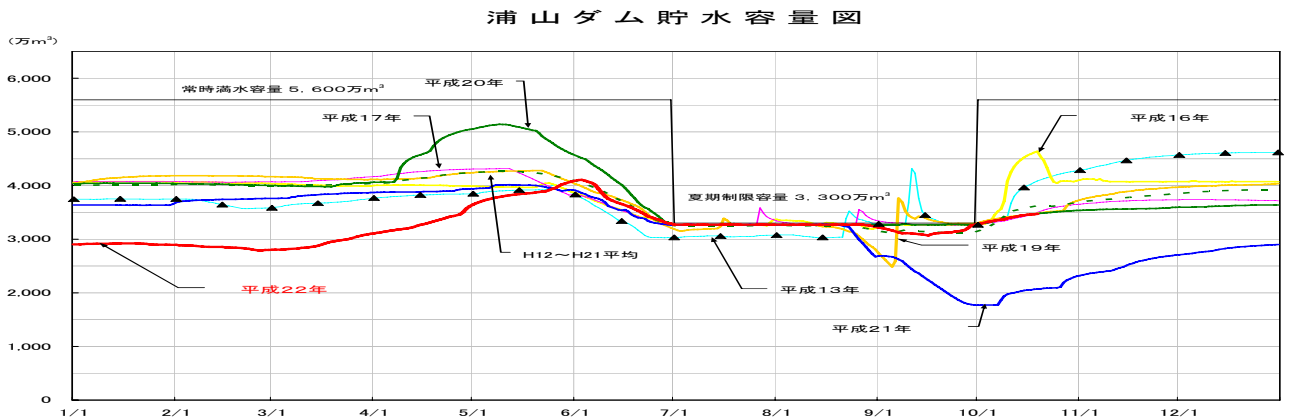


図-6



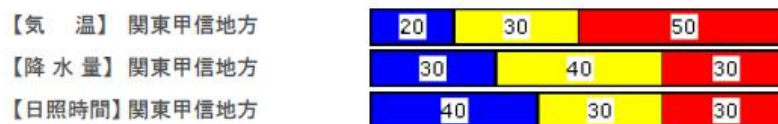
## 2. 今後の見通し及び対策（案）

### （1）見通し

- ①. 平成22年10月15日発表の気象庁の1か月予報によると、10月16日から11月15日の関東甲信地方の降水量については、「平年並」となっており、9月22日発表の気象庁の3か月予報によると、降水量は、10月は「多い」または「平年並」、11月及び12月は「平年並」となっています。また、9月22日発表の気象庁の寒候期予報によると、12月から2月の降水量は、「平年並」となっています。

#### 1か月予報（平成22年10月15日発表）

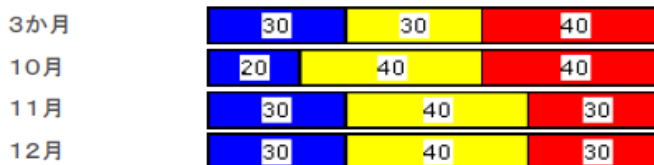
<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

#### 3か月予報（平成22年9月22日発表）

【降水量】  
[関東甲信地方]



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

#### 寒候期予報（平成22年9月22日発表）

<冬(12月~2月)の気温、降水量の各階級の確率(%)>



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

- ②. 荒川4ダムのうち、二瀬ダム、滝沢ダムは、ダム運用上、重要な工事を実施するため、貯水量を制限した運用を行うこととしていますが、そのうち二瀬ダムについては11月までには工事を完了させる予定です。

また、一般的に冬期の降水量が少なくなることから、下流域の水需要を満たすためにダムからの補給が予想されます。

### （2）対策（案）

#### ① [荒川水系におけるダム群の貯水量の確保]

今後は荒川の降雨状況や都市用水の水利用を十分考慮して、きめ細かい運用を行っていきます。このため、荒川ダム群の貯水量の状況や降雨状況の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。

#### ② [荒川水系渇水調整協議会の取り組み]

荒川水系渇水調整協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。

### 3. 非洪水期における工事制限水位等について

工事主体	ダム名	工事名	工事概要等	工事期間											
				平成22年				平成23年							
				9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
二瀬ダム	二瀬ダム	砂れき搬出工事	貯水池内の堆砂を二瀬ダム直下へ運搬する。	← 9/22 → 1/30											
		制限貯水位 EL518.0m (貯水量 6,122千m <sup>3</sup> ) 制限期間 平成22年9月22日から平成22年11月30日													
滝沢ダム	滝沢ダム	斜面対策工事	斜面対策工事を実施する。	→ 3月初旬											
		(参考) 試験湛水完了日 平成21年7月14日 制限貯水位 EL537.0m (貯水量 25,000千m <sup>3</sup> ) 制限期間 平成22年7月初旬から平成23年3月初旬													